

道

德

目 次

- 基本的な考え方.....4 1 5
- 目 標.....4 1 5
- 各指導形態で配慮する指導内容例.....4 1 6

道

徳

1. 基本的な考え方

人間が社会において生活していくためには、社会的規範、道徳的心情など集団生活に必要な道徳性の育成をはかることが必要である。それはとりもなおさず、人間社会の秩序を保ち明るい平和な社会を築いていくことにつながる。このことは、精神発達遅滞児の教育においても同様であり、進んで社会生活に参加し社会の一員として生きていくためには、道徳的な判断力、心情、態度などの道徳性を育成することは当然なことである。

道徳教育のねらいは、いろいろな道徳的課題に直面した時、自分がどうしなければならないかを的確に判断し、行動できる人間を育てることにある。しかしながら、子供の実態をみると知的発達の遅れから社会性や情緒に問題のある子が多く、他律的な行動や自己中心的な行動が目立ち、中には道徳性の培われる基盤となる基本的生活習慣の確立もされていない子もいるのが現状である。このような子供たちに、一般の小・中学校と全く同じような内容や指導形態での指導は困難である。精神発達遅滞児の特性、他教科・領域の内容と道徳徳目との関連等を考慮すれば、特設された時間の中での指導より、具体的な生活場面の中で即時的に指導していく方が効果的である。

そこで、本校では学習指導要領で示された道徳の目標をふまえ、小学校28項目、中学校16項目の指導内容を、日常生活の指導、生活単元学習、作業学習、各教科、特別活動などすべての教育活動の中で指導していくことにした。実際の指導においては、次のようなことを念頭に置いて指導していきたい。

- ① 道徳性育成の基盤となる「基本的欲求の充足」「生活習慣の確立」に努める。
- ② 自分の生活や周囲に目を向けさせ、美しいものやより正しいものを求めようとする心を育て、道徳的心情にゆさぶりをかけ、それを豊かにしてゆく。
- ③ 具体的な場面での善悪の区別をはっきりわからせる。
- ④ いろいろな作業や活動を通しての成就感・満足感を味わわせ、他律的な行動や自己中心的な行動からの脱皮をはかる。
- ⑤ 学級・学校の雰囲気、健康・安全への配慮、家庭や地域社会との連携等、よりよい環境づくりに努める。

2. 目 標

本校のめざす教育目標を到達目標として、全教育活動の中で健康で明るく、助け合いながら社会の一員としてともに伸びていこうとする、人間性豊かな児童・生徒を育成する。

3. 各指導形態で配慮する指導内容例（生活単元学習）

先に、道徳の指導内容を、すべての教育活動の中で指導していくことについて述べたが、ここでは、生活単元学習における取り扱いの例を示す。

生活単元学習の中で配慮する指導内容一覧（小学部）

月	低 学 年	中・高学年	関 連 す る 指 導 内 容
4	友だちになろう	わたしたちの学級 春の一日遠足	(2) 礼儀作法 (3) 整理, 活用 (6) 明朗 (13) 向上心 (16) 親切
5	のりものごっこを しよう	のりもの	(1) 生命尊重 (3) 活用 (2) 規則尊重 (24) 公共心
6	学校にとまろう(I)	宿泊学習(I)	(1) 生命尊重 (3) 整理, 活用 (18) 信頼, 友情 (2) 規則尊重
7	楽しく遊ぼう (夏の遊び)	夏の遊び	(1) 生命尊重 (10) 自然, 動物愛護 (2) 規則尊重
9	楽しい二学期		(1) 生命尊重 (3) 整理, 活用 (10) 自然, 動物愛護 (2) 規則尊重
	運 動 会		(1) 生命尊重 (2) 礼儀作法 (8) 不とう不屈 (18) 信頼, 友情
10	学校にとまろう(II)	宿泊学習(II)	(1) 生命尊重 (3) 整理, 活用 (18) 信頼, 友情 (2) 規則尊重
11	まつりをしよう	ふようまつり	(3) 整理, 活用 (10) 自然愛護 (15) 創意進取 (23) 勤労
12	もうすぐお正月		(2) 礼儀作法 (3) 整理, 活用 (17) 感謝 (18) 信頼, 友情
1	楽しい三学期		(3) 整理, 活用 (13) 向上心 (2) 規則尊重
	楽しく遊ぼう (冬の遊び)	冬の遊び	(1) 生命尊重 (3) 整理, 活用 (10) 自然愛護 (18) 友情 (19) 公平
2	学 習 発 表 会		(2) 礼儀作法 (8) 不とう不屈 (15) 創意工夫 (18) 友情
3	もうすぐお別れ		(2) 礼儀作法 (3) 整理, 活用 (2) 規則尊重 (26) 学校敬愛